

56 アオアシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Tringa nebularia

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では旅鳥、本州、四国、九州では旅鳥または冬鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に3-6月と9-11月に見られるが、冬にも記録がある。干潟、河口、河原、湿地、湖沼、水田などに生息し、昆虫類、甲殻類、ミズズミ、オタマジャクシなどを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、西宮市、(洲本市)、伊丹市、豊岡市、(加古川市)、(赤穂市)、高砂市、川西市、小野市、(三田市)、南あわじ市、淡路市、(加東市)、たつの市、稲美町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県中・南部で単独または数羽の小群が少なからず記録されていた。近年は生息地の減少に伴い渡来地は減っている。県北部でも少ないが記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。